

第1部 豊岡市環境基本計画と環境報告書について

■豊岡市環境基本計画について

第1次環境基本計画の体系図は、次頁のとおりです。計画の基本理念・基本方針をもとに、10年後に到達すべき10個の「目標とする姿」を描き、それを実現するための具体的な方向性と行動指針を定めています。

平成28年度に見直しを行い、第2次環境基本計画を策定しました。

■環境報告書について

この「豊岡市環境報告書」は、「豊岡市コウノトリと共に生きるまちづくりのための環境基本条例」に基づき、毎年、環境の状況や計画の取り組み状況等について、豊岡市環境審議会の意見を付して公表するものです。

今回の環境報告書の取りまとめにあたっては、第1次環境基本計画の10個の「目標とする姿」への達成状況を、それぞれ「もっとがんばろう」・「この調子でがんばろう」・「よくがんばりました」の3段階で評価しました。

豊岡市環境基本計画の体系

■基本理念(第3章) 計画を進めるにあたっての基本的な考え方は次のとおり。

- 1 豊岡に住み、豊岡を訪れるすべての者が当たり前のこととして、人とコウノトリが共に生きるまちにふさわしい行動をとります。
- 2 良好な環境は先人から受け継いだものであることを認識し、次の世代に引き継ぎます。
- 3 地域ごとに異なる環境に応じ、地域の個性を生かして取り組みます。

私たちは、次の6つの合言葉をいつも
気にしながら行動します。

「もったいない」「ちょっとでも」「ばちがあたる」
「心地よい」「つなぐ」「自信・誇り」

■基本方針(第3章)

基本理念をもとに、みんなで取り組みを進めるための基本方針。

- 1 自然・文化・歴史的資源の理解と保全
- 2 人と生きものがバランスよく共生するまちづくり
- 3 資源の無駄遣いをなくす循環型のまちづくり
- 4 環境意識を高める環境にやさしい人づくり
- 5 環境行動を持続的にする取り組み
- 6 地球環境の保全に貢献



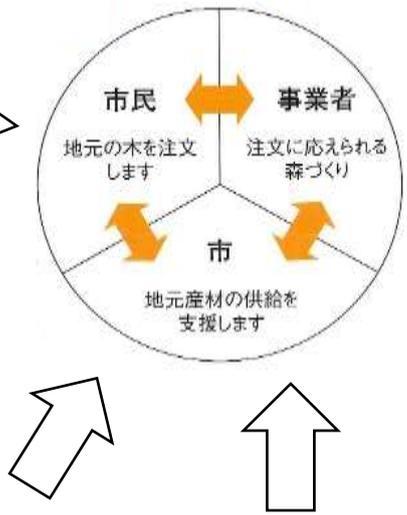
■目標とする姿(第1章)

長期的な視点のもと、みんなで取り組みを進めて10年後に到達すべき目標像。

- 1 里山では山の幸もよみがえりました
- 2 遊んでいる田んぼを見かけなくなりました
- 3 あちこちの川で子どもたちが遊んでいます
- 4 ごみのない海辺では、子どもたちが「磯遊び」を楽しんでいます
- 5 子どもたちが地域の祭りや行事を楽しんでいます
- 6 コウノトリがすべての中学校区に住んでいます
- 7 収集されるごみの量は、ピーク時に比べ25%減りました
- 8 子どもが安心して道草をしながら帰ります
- 9 たくさんの豊岡ブランドが生まれ、市民みんなが使っています
- 10 市民みんなが、省エネ行動を楽しみながら取り組んでいます

注) 豊岡市環境基本計画は、平成19年度から10年間の計画です。
「目標とする姿」は、平成29年度の豊岡市の姿を想定しています。

取り組みの方向(下記)に掲げる一つひとつの課題に関して、市民、事業者、市が連携してみんなで取り組む。
【例】 地元の木を使った家、ものづくり



■取り組みの方向(第4章)

「目標とする姿」を実現するため、市民・事業者と市が、みんなで協力して取り組みを進めていく方向を示す。

- 1 森林を保全し、活用します
- 2 川や海などの水辺環境を保全します
- 3 農業を将来にわたって維持します
- 4 生きものがバランス良く生息する自然環境を保全します
- 5 地域の文化や景観を保存し、活用します
- 6 ごみの減量・再資源化を進めます
- 7 地域力を高めます
- 8 地域から学ぶ学習・教育を進めます
- 9 環境意識を高めます
- 10 環境に関する知の集積を図ります
- 11 地産地消を進めます
- 12 環境と経済の共鳴を進めます
- 13 省エネルギーに努め、新エネルギーの利用を図ります
- 14 公害を防止します(大気汚染、騒音、悪臭、振動、土壌汚染、光害など)

■市民・事業者・市のそれぞれの取り組み

市民、事業者、市のそれぞれの具体的な取り組みを行動指針として示す。

- 1 市民(来訪者)の取り組み
- 2 事業者の取り組み
- 3 市の取り組み

【来訪者に求めること】
来訪者にも豊岡に滞在中は、市民等と同様に、環境を良くするための行動を求めます。

